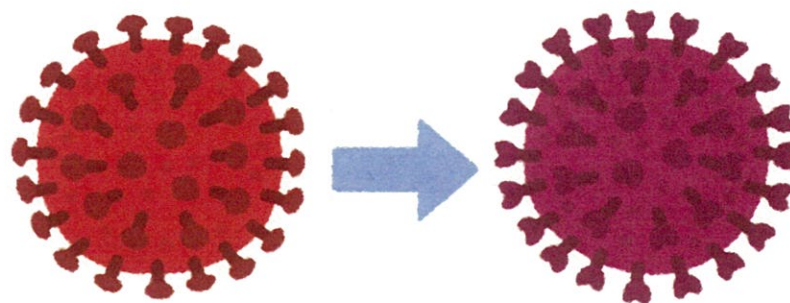


新型コロナウイルス変異株について

- ウイルスの変異とは
- 変異現象について
- 変異株について
- 変異株とワクチン
- 保健所長からのメッセージ



令和3年8月18日

相双保健福祉事務所

副所長 堀切 将

ウイルスの変異とは



- ウイルスは、自身の内部に遺伝子（コロナウイルスの場合、RNA）を保持していますが、これを複製することによって増殖します。
- RNAとは、核酸と呼ばれる4種類の塩基が特有の順番（配列）で並んだものです。
- RNAの複製が行われる際、通常は、複製前のRNAと同じ塩基配列の新しいRNAが出来上がりますが、ときに、誤って別の塩基配列をもったRNAが作られてしまうことがあります。
- この現象を「変異」と呼んでいます。

変異現象について

- 変異をきたしたウイルスの多くは、それ以上存在することができずに死滅してしまいますが、中には、変異後も、ウイルスとしての機能を維持できるものも現れます。更には、そのウイルスがおかれている環境に、より適応した状態に変化するものもあります。
- 変異という現象は、あらゆるDNAあるいはRNAが複製される際に起こりうる現象ではありますが、ウイルスが変異をおこす可能性は、人間と比較してずっと高いのです。
- いわばウイルスの変異は、自身のおかれた環境で生き延びていくための知恵のようなものであり、これは新型コロナウイルスに限ったことではありません。したがって、今回、いわゆる変異株が出現したことは、むしろ必然であると言えます。

変異株について

- 今までに確認された新型コロナウイルスの変異株は5種類あり、アルファ株、ベータ株、ガンマ株、デルタ株、ラムダ株と呼ばれています。
- 変異株が混在している場合、より環境に適した、すなわち人に感染しやすい株が生存していきますので、そうでない株は自然と駆逐されていきます。
- 中でも、アルファ株は従来よりも感染しやすい、デルタ株はアジア系人種の免疫の効果を低下させる可能性がある、という指摘がなされています。
- 日本では、変異株が確認された当初はアルファ株がほとんどでしたが、最近ではデルタ株の割合が増えています。
- このような変化は、ウイルス側からすれば当然のことであり、私たちが意図的に変異株を選択したり操作したりすることはできません。

変異株とワクチン



- 変異株という名前に対して、必要以上に恐れる必要はありません。ファイザー社の発表によると、発病予防効果に係るワクチン有効率は、アルファ株に対しては約94%、デルタ株に対しては約88%と報告されています（厚労省 新型コロナワクチンQ&Aより）。
- 変異株に対しても、ワクチンの効果は認められているのです。ただし、ワクチンを接種したら安全ということではありません。

保健所長からのメッセージ



ウイルス感染対策は、変異株であっても、正しい手洗いとマスクの正しい着用であることに変わりはありません。

皆さまにおかれましては、引き続き個別の感染対策を継続していただくようお願い申し上げます。

